

Student Activities



活躍した学生たち

第1回在宅ボランティア・アイデアコンテスト最優秀賞

『紙石鹸』で手を洗おう



2020年5月「学生ボランティア支援プログラム やってみゅーでスク・Uサボ」主催で、第1回「在宅ボランティア・アイデアコンテスト」が行われました。県内7大学42件の応募のなかから、大村晃太郎さん（長崎大学）のアイデア「楽しく感染症予防 洗うと溶ける『紙石鹸』で手を洗おう」が最優秀賞に選ばれました。COVID-19の感染予防から、手洗いの重要性が増えています。溶けるまで時間がかかる紙石鹸を作ることで、子どもたちが楽しみながら、自然と手洗いの時間を延ばせるという発想が高く評価されました。大村さんはその後、学生団体「Yellow Bird」を立ち上げ、紙石鹸に色をつけたり改良を重ねたりしながら、色々な形や色をしたカラフル紙石鹸を作成し、長崎県内の保育施設等、約15箇所へ計8,000枚以上の寄付を行いました。



水際アンビュランスが池を掃除してみた

2020年8月31日から9月4日にかけて、学生団体「水際アンビュランス」の学生を中心に5名が、文教キャンパス内にある池の清掃を行いました。文教キャンパスに通う学生なら必ず見るであろう、教育学部横にある池。「あの池を掃除したい」という学生の一言から、企画が誕生しました。環境や生態系に詳しい大庭伸也准教授（教育学部）、井上徹志教授（水産・環境科学総合研究科）の指導の下、池の生物や植物について教わりながら、清掃を行いました。途中台風に見舞われるアクシデントもありましたが、藻に覆われた池は、きれいな池に大変身しました。



未来国会2020 長大生が日本一に

2020年9月27日、「未来国会2020オンライン決勝大会」が開催され、水産学部2年満田真子さん、水産学部1年渡邊誠也さん、情報データ科学部1年林田昂己さんで構成された、チーム「MASK」が見事優勝を果たしました。未来国会とは「もしあなたが日本の総理大臣ならば」という設定のもと、10年後の日本の「ビジョン」、10年後の「政策」・「予算案」を提案し、コンテスト形式で競い合う国内最大の政策コンテストです。本チームは「フグに恋する5秒前 〜ぎょ、ぎょぎょう〜」というテーマで、「水産業×IT」、「水産×多様性」、「水産×教育」を重要政策に掲げ、日本の水産業の活性化についてオンラインでプレゼンを行い、日本一に輝きました。



注目のサークル! 映像サークル 「とまと」



映像サークル「とまと」は、映像に興味がある学生のために創設されました。2020年は、水際アンビュランスの池清掃のPR動画や、キャンドルナイトの生配信のサポート、当日までの活動の様子をまとめた動画作成・編集など、長大生の活動を魅力的に発信しました。過去の作品は、TwitterやYouTubeなどでご覧いただけます。今後の作品に期待が高まります。



長崎県内6大学合同 「キャンドルナイト ～長崎に希望の光を灯そう～」開催

2020年10月9日、長崎県内6大学合同で「キャンドルナイト ～長崎に希望の光を灯そう～」を開催しました。コロナ禍で暗い世の中を長崎の若者の力で明るく照らしたい。そんな思いから、各大学の実行委員会を中心に計画を進めました。当日はYouTubeで生配信を行い、キャンドルの幻想的な光に包まれながら、堀内伊吹教授（教育学部）によるピアノコンサート、龍踊部による演舞などが披露されました。一つ一つのキャンドルには、学生の思いが詰まったメッセージが書かれており、やさしい光が長崎の夜を照らしてくれました。

